

戦争映画のポスター 邦画と洋画の違いは

豊橋で200点展示

ポスターや資料を出展した佐々木さん—豊橋市民文化会館で



国内外の戦争映画のポスターを並べた「戦後七十七年ポスターで見る戦争映画—平和を求めて—」が十四日まで、豊橋市民文化会館で開かれている。

同市で毎年開かれている「とよはしまちなかスロータウン映画祭」の実行委員長を務める佐々木順一郎さん(七〇)が、十代の頃から集めた三万点以上から戦

争映画の二百点を用意した。

邦画と洋画で展示室を分け、邦画は戦争の残酷さや反戦をテーマに、洋画は正義、ヒーロー仕立てに作られてきたことが分かるように展示されている。

他に豊橋が軍都と呼ばれた背景や、佐々木さんの父がシベリアの捕虜になった際の日記など六百点の資料

も展示している。佐々木さんは「先人の努力で平和があることを考える機会になれば」と話した。佐々木さんが資料を出展した企画展は七回目で、「ポスターには映画の魅力が凝縮されている。次は動物映画のポスターを展示したい」と意欲を見せた。(加藤壮一郎)